

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
○	1000人の子ども一人ひとりが大切にされ、安心して楽しく学べる、居場所のある学校づくりを進めます。
・	教職員が主体的に学校運営に参画することで、信頼と協働を大切にする「チーム原」を具現化していきます。
・	全教職員が同じ考え、共通指導方針をもつことで、児童理解、児童支援体制を充実させ、子どもの心に寄りそった指導に努めます。
・	子どもの自己有用感・自尊感情を育むことで判断力や行動力、自己表現力を育てます。
・	学力の実態をふまえた具体的な手立てに則った指導に努め、学力の向上を図ります。
・	健康で安全・安心な学校生活ができるよう、学校・家庭・地域・関係機関が連携して、子どもの健全育成に努めます。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		取組目標	具体的取組
豊かな心		「道徳の時間」を要として、学校の様々な教育活動を通して、自他を大切にす心や豊かな心情や態度を養う。	① 子どもが道徳の授業と実生活を関連づけて理解できるような道徳の授業方法や教材の効果的な活用等の研究を進めていく。指針1「道徳時間」の充実 ② 全学級の道徳の授業を、家庭・地域に年1回以上公開する。 指針1「道徳時間」の充実 ③ 縦割り活動など、異年齢集団活動を充実させ、いろいろな友達とかかわり合いながら、主体的、意欲的に行うことができるようにする。指針2「体験活動の充実」
担当	道徳部 ・特活部		

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

本校の児童は明るく、素直でほめられるとよく頑張ることができる。また、あいさつや相手のことを考えて行動できるようになってきている。反面、自分に自信がなく、自己肯定感が低い。そのため自信をもって自分の思いや考えを相手に伝えることが十分にできていない。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1「道徳の時間」の充実

- ・ 子どもたちが、道徳の授業と実生活を関連づけて理解できるような道徳の授業方法や教材の効果的な活用方法等について、学年研などで話し合ったり、教材を作ったりする。
- ・ 全学級の道徳授業公開を年一回以上実施する。
- ・ 道徳的価値について自ら考えるきっかけとなるよう「私たちの道徳」を積極的に活用する。
- ・ 大人の率先垂範で、あいさつを進んでするようにしていく。

【視点1】

指針2 体験学習の充実

- ・縦割り活動等で、異年齢集団活動を充実させる。ペア学年との交流の時間や場を適切に設定し、1年間継続して行うことができるようにしていく。(読書週間での読み聞かせ、ペアの音楽交流、休み時間の遊び、集会活動)
- ・今月の歌をクラスが学校全体で歌う。
- ・校内図工展での交流(感想を伝え合う。)

【視点3】